

## コロナ禍と子どもたちとカッコいい大人

麻生谷 西光寺 住職 養藤直哉



2021年  
(令和3年)  
9月30日

# 五位組だより

念仏のこころに生きる生活を

浄土真宗本願寺派  
高岡教区 五位組

題字・織田隆夫

新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、先日、私が園長を務める保育園でも無観客で運動会を行いました。乳幼児にはマスクを着けることは危険、運動をするときのマスクも危険と言われていますから、保育園でもほとんど子どもたちはマスクを着けず走り回っております。子どもたちに運動会でお家の人に見せたい姿を尋ねると、「カッコいいところ!」という答えが圧倒的です。

最近、十歳未満の子どもたちの感染拡大が増加しているというニュースを耳にすることが多くなりました。特別な持病をもっている子ども以外は、現在のところ感染したとしても無症状か軽症程度の症状です。多くの子どもたちにとってコロナは恐ろしい病気とはいえないのです。しかし、他の人を感じさせることはあります。園や学校で感染すれば、子どもたちがそれぞれの家庭にウイルスを運ぶ「運び屋」として問題視する声も聞こえてきます。

しかし、私たちが本当に問題視するべきは一体何なのでしょう? 不安や恐怖にかられると、自分たちのことしか見えなくなる、私たち大人の姿勢なのではないでしょうか。まだ幼い子どもたちを守る事ができるのは、私たち大人しかいないのです。どこまでも子どもの目線を忘れないようにしな

ければなりません。恐ろしいのは、ワクチン接種を子どもたちに迫る大人が増えていることです。若い人ほど副反応がひどいといわれる中で、感染しても無症状か軽症程度の子どもたちにワクチン接種を強要する考えは、あまりにも乱暴です。子どもは大人の不安や恐怖に対し、何もわからずただ受け入れるしかありません。子どもたちを守るべき私たち大人は、家庭内で、社会で、よく考え、話し合い、行動していかなければなりません。

では、大人たちの不安や恐怖は何処からわき上がってくるのでしょうか? それは、コロナ感染が人間の生命や死に直結しているからなのでしょう。生への欲望、死への不安や恐怖に振り回され、生命の現実、死の現実に今まで向き合ってきた大人が、子どもたちから何が正しいのかを問われているのです。「仏法」とは、生命と死を見つめるその中から、生きる知恵と勇気を頂いていく教えです。大人たちが子どもたちの生命の現実を真摯に見つめていこうとするならば、必ず仏法は子どもたちに「カッコいいところ!」を見せる道標になるだろうと思います。

## 住職インタビュー

本保 本正寺 福保秀涯 さん



## ①最近ハマっていることは？

体力が無いのでテレビで「にっぽん百名山」を見えています。一口に山といっても、その一つ一つに味わいがあり、ついつい見入ってしまいます。元気な頃は、いろんなところに旅行したものですよ。

## ②お坊さんになってからの失敗談 &amp; 新米僧侶の頃自分に一言

住職に成りたての頃(二十一才)は無我夢中でありましたが、少し慣れてきますと、ふとしたことがきっかけで笑いがこみ上げて来るようになりました。

或る時、年長の住職さんと門徒さん宅の法要にお参りに行った折、そのきっかけがありまして、読経中に思い出して笑いが止

まらなくなり、空咳などしていると、住職さんにもおかしみが出て、二人して笑っていてお経がしどろもどろになってしまおう、という困ったことがありました。笑いを抑えるのは至難の業でありますよ。若気の至り？お恥ずかしい次第であります。

## ③旅行をする時、一番大事にしていることは？

初めての場所へ行きたいです。と申しますのは、お寺は長期間不在にするわけにはいきませんが、限られた時間の中で、まだまだ多くのものを見てみたいからです。せいぜいで一泊二日の旅行が限度ですから、ついつい初めての場所を選んでしまっています。日本の国だけでも、行ったことのないところばかりです。



## 仏教語アラカルト

教願寺 前住職 岡西法英

## その③

## 門徒と御師匠様

「門徒」という言葉は、「門弟」「門下」「学徒」「生徒」「徒弟」という一連の言葉が示すように、弟子を表す言葉であり、これに対する言葉は「師匠」である。親鸞聖人や本願寺住職に対して言えば、各寺院住職も(おかみそり)を受け、法名を授かった門徒・弟子であるので、一般の門徒からして言えば、「師匠」役を務める「御師匠様」であるということになるわけである。

「何々寺の門徒」と、その寺の門徒たちからは、「御師匠」と仰がれるのがその寺の住職であるという構図によつ

て成り立っているのが、一般の寺院の姿である。

しかし、蓮如上人は、『御文章』一帖目第一通において、

「親鸞聖人は弟子一人も持たず」と仰られたのであり、念仏の世界では共に同朋・同行であるのが本来の姿であると示された。共に阿弥陀如来の救いを仰ぎ、釈迦如来の勧めに従う弟子であることに変わりはないことを忘れるなどというお示しである。



## 報 恩 講 ご 案 内

各寺院の日程順に記載してあります。

## 赤丸 性宗寺

十月十一日 朝 九時三十分  
昼 一時三十分

法話 射水市市井 公文名 眞師

## 石堤 法善寺

コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、  
例年の報恩講法要は、  
中止とさせていただきます。

## 四日市 浄明寺

十月十四日 朝 九時三十分  
十月十五日 朝 九時三十分

法話 高岡市内島 岡西 法英 師  
※ 十四日は永代祠堂経法要

## 辻 西福寺

十月十七日 朝 九時三十分

法話 高岡市伏木 山名 一徳 師

## 立野 永念寺

コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、  
例年の報恩講法要は、  
中止とさせていただきます。

## 三日市 光源寺

十月二十三日 朝 九時三十分

法話 高岡市佐加野 磯原 孝雄 師

## 本保 本正寺

コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、  
例年の報恩講法要は、  
中止とさせていただきます。

## 佐加野 光明寺

十月二十七日 昼 一時三十分 夜 七時  
十月二十八日 朝 九時三十分

法話 高岡市内島 岡西 法英 師

## 内島 教願寺

十月三十日 昼 一時三十分  
十月三十一日 朝 九時三十分

法話 高岡市佐加野 磯原 孝雄 師

## 中保 善教寺

コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、  
例年の報恩講法要は、  
中止とさせていただきます。

## 石堤 長光寺

十一月一日 朝 九時三十分  
十一月二日 朝 九時三十分

法話 氷見市布施 圓山 望 師

## 笹川 廣濟寺

十一月五日 朝 九時三十分  
十一月六日 朝 九時三十分

法話 高岡市伏木 山名 一徳 師

## 麻生谷 西光寺

十一月七日 朝 九時三十分  
十一月八日 朝 九時三十分

法話 氷見市脇 寺西 良夫 師

## 上向田 浄永寺

十一月十二日 朝 九時三十分  
昼 一時三十分

法話 射水市市井 公文名 眞師

## 山岸 珉照寺

十一月十六日 昼 一時三十分  
十一月十七日 朝 九時三十分

法話 氷見市泉 伯水 永雄 師

## 舞谷 永賢寺

コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、  
例年の報恩講法要は、  
中止とさせていただきます。

詳細は各寺院にお問い合わせください。



## とても身近な多くの命

永賢寺 川岸雅紀

「多くの命と皆様のおかげによりこのごちそうを恵まれました。深くご恩を慶びありがとうございます！」。皆様お馴染みの浄土真宗本願寺派の食前の言葉です。ついつい三度の食事を当たり前のように頂き、冒頭の「多くの命」に目を背けがちになっっているこの私めではあります。にんにくを生産を通して、本当に多くの命に囲まれて日々を過ごしている事に気付かされております。

私の育成しているにんにくは、里山の豊かな自然環境を利用した無農薬栽培を実現しております。そしてこのにんにく育成にあたって、中田保育園さんにて飼育されている山羊さんのフン（ペレット状である山羊のフンは肥効が長く、九カ月以上に及ぶにんにく栽培に適しています）を原料とした完熟堆肥を使用しております。

畑の土壌1gの中に約一億の微生物がいると言われています。手に一掴みすれば、六〇〜七〇gくらい

は掴む事が出来るので、一掴みで地球上の人口と同じくらい微生物のコミュニティとなつております。また先程ご紹介しました山羊さんのフンの中にも沢山の乳酸菌や大腸菌が存在し、即ち微生物のコミュニティとなつております。仏教でお説きになられている『お浄土』、何故『土』なのか？かなり意味深さを痛感しつつ、この土づくりに携わらせて頂いております。

今後も循環型農業による独自のにんにく栽培を続け、多くの命と向き合っていきたいと思えます。

にんにくのまいのや

<https://mainoya.com/>



## 五位組行事予定

二十五日講

報恩講

十月二十五日(月)

十三時半〜

珉照寺

平等講

追悼会・助成会

十一月二十五日(木)

十四時〜

西福寺

蓮門会

テーマ

「蓮如上人のことば」

十月三日(日)

十五時〜

廣濟寺

二〇二二年(令和四年)

二月八日(日)

十五時〜

教願寺

※一回あたり千円での受講もできます。

## 編集後記

皆さん、念珠はお持ちですか？

念珠は、主に仏前で礼拝する時に用いる法具です。放り投げたり、畳の上に直接置いたりしていませんか？大切な法具なので、念珠は正しい取り扱おうよう心掛けたいものです。

念珠は基本的に左手に持ちます。そして合掌する際は、両手の親指と人差し指の間に向け、両親指で軽く押さえる形になります。

念珠を身につけることは、門徒の大事なたしなみの一つです。家族一人ひとりが念珠を持ち、手を合わす時間を大切にすると、人生を送ることは、こんな時代だからこそ、きっと大きな意味があるのではないのでしょうか。



合掌